

令和7年度 学校関係者評価書

学校名 北海道おといねっぴ美術工芸高等学校

組織名 学校運営協議会
評価者

1 学校教育目標

造形体験を重ね、創造力を育成する。
○基礎基本を重視し、自ら学ぶ意欲を高める。
○個性を生かし、豊かな自己実現を目指す。
○自然に親しみ、情操を豊かにする。

2 本年度の重点目標

- (1) 基本的な生活習慣の確立と学習習慣の定着を目指す。
- (2) 確かな技術技能の定着をはかり、生徒一人ひとりの個性を生かした造形教育を推進する。
- (3) 学校生活・寄宿舎生活をとおして、豊かな心と社会性を育成する生徒指導を推進する。
- (4) 3年間を見通したキャリア教育を推進し、自己実現に向かい取り組む姿勢を身につけさせる。
- (5) 魅力ある教育活動の発展充実を目指し実践や研修を推進する。

学校運営協議会

※学校関係者評価基準 A=5：充分 B=4：適当 C=2：不十分 D=1：要検討

3 自己評価結果

分野・領域	評価項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価結果内容の適切さ	取組の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
教育目標	1 学校教育目標等について教職員の共通理解が図られている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価の活用の推進 ・カリマネ視点の改善 ・目標と実践の連動 ・方針と実践の連動 	A	A	A
	2 スクール・ミッションやスクール・ポリシー学校教育目標の実現に向けた取組が行われている。	A	A				
ご意見等記入欄	<ul style="list-style-type: none"> ・費用感次第ですが、教員の負担増とならないような取組に向けて、今後において地域学校協働推進員などのコーディネーターの外部人材登用も検討されてはいかがでしょうか。 						
学習指導	3 生徒の実態や学科の特色を活かした教育課程の編成に努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの活用 ・教育課程の点検・改善 ・主体的学びの質向上 ・基礎学力定着の強化 ・指導法の共有化 ・朝学習と授業の連携 ・専門性向上研修の充実 	A	A	A
	4 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに学習習慣の確立に努めている。	A	A				
	5 学習意欲を高め主体的に学ぶための教科指導の充実と、評価の工夫・改善に努めている。	A	A				
	6 主体的・協同的な学びを実現するために、端末を積極的に活用している。	B	A				
	7 教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に努めている。	A	A				
ご意見等記入欄	<ul style="list-style-type: none"> ・「学力」「技術力」にプラス「生きる力」の指導もお願いします。 ・生徒の評価結果から、若干の学習に対する不安が見られる。 						
生徒指導	8 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図り、生命と人間尊重の精神を育むように努めている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・寮生活点検と見直し ・組織的性と理解の推進 ・危機管理体制の確立 ・関係機関と連携した安全教育の推進 ・教育相談の好き支援体制の充実 ・多様な背景の把握と情報共有 	A	A	A
	9 自他の安全・安心を確保するための資質や能力を育てている。	A	A				
	10 一人ひとりの生徒を大切に、生徒理解に基づく指導の充実を図っている。	A	A				
ご意見等記入欄	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習指導」にも関わりますが、先生と生徒の信頼関係がより深くなるよう、常に心がけて下さい。 						
いじめへの対策	11 教職員、寮、家庭との連携を図り、未然防止早期発見に向けた観察やアンケート、教育相談を推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・相談機能の充実と情報共有の徹底 ・家庭、寮との密な連携 	A	A	A
ご意見等記入欄							
学校行事課外活動	12 学校行事の検討を通して活発な生徒会活動の推進と生徒の精神的成長を目指している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行事内容の改善充実 ・委員会活動の活性化 ・寮生会活動の活性化 ・学校行事と寮行事のバランス確認 	A	A	A
	13 部活動の活発な活動を推進している。	A	A				

ご意見等 記入欄							
進路指導	14 自己を理解し進路について自ら考え積極的に行動できる生徒を育てる進路指導に努めている	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 先輩からの助言に基づいた指導 意識醸成のための適時な情報共有 インターンシップの活用 異校種・産学連携の推進 進路指導の体系化 家庭連携の深化 ICTを活用した進路相談体制の推進 	A	A	A
	15 地域連携を推進し、体験的、実践的な学習を通して望ましい勤労観、職業観を育成している。	A	A				
	16 生徒が主体的に進路選択ができるように情報収集・発信に努め、保護者・生徒・教師の相互理解を図っている。	A	A				
	17 家庭や関係機関と密な連携を図り、情報を共有している。	A	A				
					(4.78)	(4.78)	(4.88)
ご意見等 記入欄	・生徒の評価結果から、進路に対する不安が読みとれる。						
健康安全 指 導	18 健康保持への意識を高め、疾病予防、健康増進への態度を育てている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練の工夫改善 安全教育の推進 危機管理マニュアルの見直し 感染症対策の一層の徹底 教育相談後のフォローアップ体制の構築 関係機関との連携 心のケア体制強化 情報モラル指導の推進 	A	A	A
	19 生徒の生命安全を第一に考えた防災意識の高揚に努めている。	A	A				
	20 生徒のメンタルケアに努め、安定した学校生活を目指している。	A	A				
	21 あらゆる情報を正しく扱える能力や情報モラル、情報リテラシーに関する知識を身に付けさせている。	A	A				
					(4.89)	(4.89)	(4.88)
ご意見等 記入欄	・「20」については、生徒のみならず、教員や職員全員も対象として取り組んで下さい。						
研 修	22 校内研修を推進し、生徒の実態を踏まえた指導に係る研修・研究を行っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 実践的な校内研修の充実 研修成果の還元 	A	A	A
					(5.00)	(5.00)	(5.00)
ご意見等 記入欄							
組織運営 保護者、 地域住民 等との連 携	23 共通意識を図り、協働体制の強化に努め、明るく活気のある職場づくりを推進している。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 校内組織間の情報共有化 働きやすい職場の推進 P T A活動の充実 H P等情報発信の工夫改善 協働体制の一層の強化 報道機関への情報提供 広報活動の充実 地域・保護者との連携の充実 働き方改革のより一層の推進 	A	A	A
	24 P T A活動・同窓会活動の促進に努めている。	B	B				
	25 学校の教育方針や教育活動について積極的に発信し、本校の教育活動への理解と協力が得られるよう努めている。	A	A				
	26 ボランティア活動や各種行事へ積極的に参加し、地域や家庭の期待に応えている。	B	B				
	27 北海道アクションプランを意識して、働き方改革を推進している。	A	A				
					(4.89)	(4.89)	(4.88)
ご意見等 記入欄	<ul style="list-style-type: none"> 遠方の家庭との連携や情報発信は、貴学の重要課題である。 「B」判定の箇所は、「できる限り」で無理せず取り組んで下さい。 						
その他	28 学校評価を分析し、課題を見つけ出し、解決するための取組を行っている。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価を活用したPDCAの徹底 危機管理体制の強化 研修による理解深化 服務規律の継続啓発 	A	A	A
	29 BCP（業務継続計画）や危機管理マニュアルの見直しと改善を図り、学校安全の確保に努めている。	A	A				
	30 日常的な指導や研修等により、服務規律の保持に努めている。	A	A				
					(5.00)	(5.00)	(5.00)
ご意見等 記入欄							

※自己評価 評価基準 A=5：充分である B=4：概ね充分である C=2：不十分である D=1：改善を要する